



▲『がんばル〜ム』マネジャーの皆さんが小島市長へ表彰の報告をしました(平成29年12月21日・深谷市役所市長公室)。

土曜日の午前中に、子どもたちの居場所と学習支援の場となっている『がんばル〜ム』の取り組みが評価され、文部科学大臣から表彰されました。

それに伴い、『がんばル〜ム』のマネジャーが深谷市役所を訪問し、小島市長へ表彰の報告をしました。

子どもたちの学習支援の場『がんばル〜ム』の取り組みが 文部科学大臣から表彰されました

問い合わせ 生涯学習スポーツ振興課 (☎572-9581)



ちいきの先生 募集中!

お気軽に、生涯学習スポーツ振興課へお問い合わせください。

対象 18～75歳
指導教科 国語・算数
勤務時間 土曜日午前中
勤務場所 市内小学校

この度の表彰は、個別学習の指導や相談を行う『ちいきの先生』や、ちいきの先生をまとめ、学校や教育委員会との調整を行う『がんばル〜ム』マネジャーの協力によって進めてきた活動が評価されたものです。

平成14年度から始まり 毎年1000人近い児童が参加

深谷市では、完全学校週5日制が始まった平成14年度から、土曜日の午前中に市内全小学校の図書室などを会場として、『がんばル〜ム』をスタートしました。

『がんばル〜ム』には、これまで毎年1000人近い児童が参加しています。

平成30年度市・県民税の主な改正点

問い合わせ 市民税課 (☎574-6637)

給与所得控除額の見直し

給与所得控除の上限額が、平成30年度分は220万円(給与収入1000万円を超える場合)に引き下げられます。

セルフメディケーション税制(特定一般用医薬品等購入費を支払った場合の医療費控除の特例)の創設

健康の保持増進および疾病の予

防への取り組みを行うことが特定一般用医薬品などを購入した場合、その購入費用について一定の基準により所得控除を受けられます。特例を受けるには、所得の申告時に、セルフメディケーション税制の明細書の提出と、適用を受ける年分において一定の取り組みを行ったことを明らかにする書類の提出または提示が必要です。

平成31年度申告から

配偶者控除・配偶者特別控除が見直されます

平成31年度以降の配偶者控除額および配偶者特別控除額

	配偶者の合計所得金額	納税義務者の合計所得金額		
		900万円以下	900万円超 950万円以下	950万円超 1,000万円以下
配偶者控除	38万円以下	33万円	22万円	11万円
	配偶者が70歳以上	38万円	26万円	13万円
配偶者特別控除	38万円超 90万円以下	33万円	22万円	11万円
	90万円超 95万円以下	31万円	21万円	11万円
	95万円超 100万円以下	26万円	18万円	9万円
	100万円超 105万円以下	21万円	14万円	7万円
	105万円超 110万円以下	16万円	11万円	6万円
	110万円超 115万円以下	11万円	8万円	4万円
	115万円超 120万円以下	6万円	4万円	2万円
	120万円超 123万円以下	3万円	2万円	1万円
	123万円超	0円	0円	0円

□ = 控除額

熊谷税務署からのお知らせ

問い合わせ 熊谷税務署 (☎521-2905)

①申告手続きにはマイナンバー(個人番号)が必要です

平成28年分以降の所得税および復興特別所得税や贈与税の申告の際は、マイナンバーの記載と身元確認書類の提示または写しの添付が必要です。

- ◆マイナンバーカードをお持ちの場合
マイナンバーカードのみで、マイナンバーと身元確認が可能です
 - ◆マイナンバーカードをお持ちでない場合
個人番号確認書類と身元確認書類が必要です
- 【個人番号を確認できる書類】通知カード、または住民票の写し(マイナンバーの記載があるもの)
【身元を確認できる書類】運転免許証、健康保険証、パスポート、年金手帳、在留カードなど

③公的年金等受給者に係る確定申告不要制度

公的年金などの収入金額が400万円以下、かつ公的年金などにかかる雑所得以外の所得金額が20万円以下の場合、所得税の確定申告書を提出する必要はありません。

※平成27年分以後、外国の制度に基づき国外で支払われる年金など、源泉徴収の対象とならない公的年金などを受給しているかたは、この制度は適用されません。

②医療費控除は領収書の提出が必要になりました

医療費控除を受ける場合、平成29年分の確定申告から、領収書の申告会場でも利用できます! 国税庁ホームページ

『確定申告書等作成コーナー』

問い合わせ 熊谷税務署 (☎521-2905)



申告会場でも利用できます

今年から、市内の申告会場では『確定申告書等作成コーナー』を利用して、申告書が作成できます。この機会に、便利な『確定申告書等作成コーナー』をぜひご利用ください。

※電子申告の利用には、事前の準備が必要です。詳しくは、国税庁ホームページをご覧ください。

3月4日(日)は『深谷ものづくり博覧会』へ

問い合わせ 商工振興課 (☎577-3409)

市内企業の優れた技術や製品を体験できるイベント

市内企業の技術や製品を体験できるほか、埼玉工業大学による科学実験教室など、趣向を凝らした催しが盛りだくさんです。ぜひお越しください。

※駐車場には限りがあります。公共交通機関をご利用ください。



▲子どもも楽しめる『丸太の早切り大会』の様子

新たに始まる制度・事業や、生活に身近な話題などをお知らせします

平成30年度臨時職員の登録を受け付けています



あなたの力が必要です！
消防団員募集中
問い合わせ 消防総務課 ☎57110900

募集職種一覧 (詳しくは市ホームページ、または教育委員会ホームページをご覧ください。)

職種	賃金(時給)	必要資格・免許など
①一般事務	920円	-
②保育士	1,050円	保育士資格
③看護師・准看護師	1,270円	看護師・准看護師免許(勤務場所:保育園)
④放課後児童支援員	1,030円 ※無資格は930円	教員免許、保育士資格、放課後児童支援員認定資格のいずれか(無資格のかたも応募可)
⑤学校用務員	940円	普通自動車運転免許
⑥学校栄養士	1,200円	栄養士免許
⑦学校アシスタント ティーチャー	1,100円	教員免許
⑧幼稚園教諭 (①担任 ②副担任 ③担任補助)	①1,230円 ②1,050円 ③ 950円	幼稚園教諭1種または2種免許
⑨教育相談員	1,100円	次のいずれかを満たすかた ①カウンセリング講座の受講を終了 ②カウンセリング実務経験3年以上 ③教員免許
⑩特別支援補助員	950円	-
⑪スクールライフサポーター	1,100円	教員免許
⑫ICT支援員 <small>アドバイザー</small>	1,100円	①教員免許またはこれに準ずる資格もしくは経験を有する ②コンピューターに関する知識および技能がある

※①の登録期間は平成31年3月31日回まで

問い合わせ・申し込み先

職種	担当課(電話番号・住所)
職種①	人事課 ☎574-6636・☎366-8501仲町11-1)
職種②~④	保育課 ☎574-8648・☎366-8501仲町11-1)
職種⑤⑥	教育総務課 ☎574-5811・☎366-0823本住町17-3) ※⑤のみ、4月任用は2月16日(金)までに受け付けたかたが対象
職種⑦~⑫	学校教育課 ☎572-9578・☎366-0823・本住町17-3)

市では、4月以降に臨時職員として勤務を希望するかたの登録を受け付けます(登録しても、勤務できない場合があります)。
申し込み 市販の履歴書または臨時職員登録用履歴書に必要事項を記入し、必要に応じて資格証のコピーを添えて各問い合わせ先へ(臨時職員登録用履歴書は、市ホームページから入手可能)



▲訓練で、ぬれシートを使った初期消火の方法を指導する女性団員(写真右)

深谷市消防団では、平成30年度新人団員を募集しています。資格は不要で、男女不問です。ぜひお気軽に、お問い合わせください。
対象 市内在住・在勤の18歳以上
活動内容 水災などの災害救助活動、各地域の自主防災訓練や救命講習などの市民指導、消防団各種行事への参加など
待遇 ①年報酬および出勤時の費用弁償を支給 ②活動に必要な被服・制服・活動服を貸与 ③公務員災害補償、退職報償金(5年以上)、表彰などの制度あり

市長の深い話

深谷市長 小島 進



伝統や歴史を次世代につないでいくために

2月20日は「節分」です。国語事典を見ると、「節分」とは「季節の変わり目」、「つまり立春・立夏・立秋・立冬といった各季節の始まりの日の前日を指す」とも、「特に「立春の前日」とも記されています。

「節分」といえば、「豆まき」が思い浮かびますが、私も毎年この日には、市内各所で行われる節分の行事にお招きいただき、「豆まき」をさせていただきました。

豆まきのほかにも、市内各所では、一年を通してさまざまな伝統行事や芸能が、数多く行われています。そして、古くから季節ごと

に行われている祭りや、その祭りで奉納される獅子舞などの伝統芸能が、地域の方々により代々受け継がれている光景を目にするたび、私は「地域の伝統や歴史は、地域の方々の熱意と努力によって守られている」ということを、強く感じています。

長年、伝統や歴史を積み重ねてきた行事でも、時代の移り変わりや環境の変化により、残念ながら途絶えてしまったものも数多くあると思います。その「地域」「コミュニティ」の形も大きく変化しており、伝統や歴史を守っていくことは、これからもますます難しくなっていくと考えられます。

しかし、そのような中でも、深谷市には、地域の多くの方々の不断の努力や思いの上に成り立っている伝統行事などが、数多くあります。

そのことを忘れずに、深谷市ではこれからも、伝統や歴史を次世代につないでいくために、市民の皆様とともに、「多くの方々が地域の伝統や歴史に関心が持てるような地域コミュニティづくり」を進めてまいりたいと思っています。

ありがとうの手紙



優秀賞

小学校高学年の部
泣き虫母さんへ

深谷小学校6年(現中学校1年) 芥川遼太郎さん

父が単身赴任で居ない四年間、母が一生懸命僕を育ててくれた。母はとにかく泣き虫で、僕の事だと直ぐに泣く。怪我をした時、レントゲン室から出てくると、痛いのは僕なのに、ポロポロ大粒の涙を流していたし、珠算試験に落ちた時は涙を浮かべ、僕より悔しがっていた。自分がどんなに体調を崩しても、仕事で忙しくて、弱音を吐かず、母はいつだって、僕の事を最優先にしてくれたから、寂しい思いも辛い思いもしなかった。だから、この次は絶対に嬉し涙を流させたい。母さん、いつもありがとう。



優秀賞

中学生の部
今泉さんへ

川本中学校3年(現高校1年) 小久保理詠さん

私が小さな頃から、ずっと明戸駅の駅員だった今泉さん。毎年、春になると植木鉢に入った色鮮やかなお花をくれましたね。良い香りがする綺麗なお花が大好きでした。また、駅を通るといつも「おはよう。学校頑張ってるね。」と言ってくださいましたね。おかげで、大変なとき、辛いときも頑張ろう！という原動力になりました。今は、もういない今泉さん。きっと、空の上で見守ってくれていますよね。今泉さん、たくさんの思い出をありがとうございました。